

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

ノリ採苗始まる

平成17年度のノリ人工採苗が多度津のり採種苗センターに於いて、9月25日(日)より始まった。

今夏は、猛暑、異常渇水による水不足、貧栄養塩等、ノリ生産への影響も懸念されたが、9月に入り台風による豪雨と、海水温、降雨量も平年並みに推移しており、水不足の解消と栄養塩も回復傾向となってきた。

本年度は、10月15日頃までに3万2千枚の採苗が予定されている。

今漁期のノリの豊作を期待したい。

された。



熱心に研修するノリ養殖業者

平成17年度第1回 漁業技術研修会・漁業士研究会開催

平成17年漁業技術研修会(海苔養殖部門)(主催:香川県、県漁連、信漁連、(社)県水産振興協会、県海苔養殖研究会)が、9月14日(水)午後1時から漁連会館6階大会議室において開催され、県下のノリ養殖業者、漁協職員等約140名が参加した。

当日は、「全国におけるノリ養殖の食害対策調査結果(主に魚類を中心)」と題して県水産課からの報告の後、講師に佐賀県有明水産振興センター専門研究員 川村嘉応氏を招き、「鳥類による食害対策とアカグサレ病対策の最近の現状について」をテーマに講演が行われた。

佐賀県で行われているカモ(特にヒドリガモ)による食害対策として超音波が効果があること、またアカグサレ病対策としては、アカグサレ病菌は6時間が経過すると感染しなくなること、このためアカグサレ病が発生した時には、漁場全体で一斉撤去・一斉張り込みする等の集団管理が効果がある等の情報が提供された。

研修会終了後、午後3時10分から漁業士研究会が、漁業士と川村氏他の出席のもと開催され、漁業技術研修会で説明のあった食害対策やアカグサレ病対策について、フリートーク形式で熱心に討議

漁協役員研修会を開催

去る8月29日、漁連会館において、「平成17年度漁協役員研修会」と「JF事業・組織・経営改革に向けた新運動方針説明会」が開催されました。

午前中の漁協役員研修会は、漁協役員資質向上を図り、組合の一層の健全経営に資することを目的に、本会並びに信漁連、共水連、県職員協の共催により開催されたもので、当日は県下の漁協系統団体の役員など約90名が参加しました。

研修に先立ち、主催者を代表して服部郁弘会長が、来賓として香川県水産課吉田課長補佐が挨拶を述べた後、研修に入りました。

まず、全国漁業協同組合連合会JF強化本部 信用・組織経営部次長石川和彦氏より「漁協における資産自己査定について」と題し、信用事業未実施組合についても、組合経営の健全性確保の観点から、公正・妥当な決算書を作成するため、資産自己査定の必要性が述べられました。

続いて漁連指導部組織課 吉田克宏氏から「漁協事務処理等の改善説明会」と題し、県・漁連による漁協監査の指摘事項について説明がありました。

午後からは、全国漁業協同組合連合会 代表理事 専務 宮原邦之氏より11月19日に予定されてい

る全国漁協代表者集会に向け「JF 事業・組織・経営改革に向けた新運動方針(骨子案)」について説明がありました。漁業を取り巻く環境は、水産資源の減少等による水場の不振、輸入水産物の増大による魚価の低迷、長期にわたる不況等極めて厳しい状況で、JF グループの経営環境はかつてない厳しさに遭遇しており、JF グループ自ら構造改革への取り組みが必要となっています。そこで事業・組織・経営改革に向けた重点取組事項及び具体的取組事項等について提案がなされました。

漁業環境が大変厳しく漁協経営が逼迫している状況においても、遵守しなければならない事項、また、今後取り組むべき事項として、参加者の皆さんにとって時宜を得た研修会でした。

本研修会で得られた知識を今後の組合運営に生かされ、各組合の一層の発展につなげていかれることを期待いたします。



漁協役職員研修会

赤潮注意報を全て解除

香川県魚類養殖業赤潮対策本部(本部長:服部郁弘県漁連会長)は8月31日、今後海水温の降下が予想され、赤潮発生の可能性が低くなったとして、赤潮終息宣言を発表した。

同本部は、7月5日に大槌島-小槌島を境にシャットネラによる赤潮注意報を以西に発令。7月19日からは以東に注意報範囲を拡大したが、8月2日にはシャットネラによる全ての赤潮注意報は解除されていた。

なお、本年度より、発令基準にシャットネラ オバータが新たに追加され、赤潮警報については、発令範囲を海域区分(ブロック単位)による発令に変更されていたが、警報の発令には至らなかった。

「県魚フェア-ゆめタウン高松にて開催!

県産水産物のシンボルである県魚ハマチを県民に再認識してもらい、あわせて漁協女性部の協力を得て地元水産物をPRし、地産地消運動のより一層の拡大を図るため、下記のとおり開催される。

「県魚ハマチ」

開催日時:平成17年11月5日(土)6日
10:00~16:30

開催場所:ゆめタウン高松 中央入口前駐車場特設会場

主催:(社)香川県水産振興協会
香川県漁業協同組合連合会

共催:香川県かん水養殖漁業協同組合
香川県漁協女性部連合会

- 開催内容:(1) オープニングセレモニー
主催者挨拶、来賓挨拶、
テープカット
(先着300名に香川県産
いりこ無料配布)
- (2) ハマチの一斉解体・即売、
活魚・鮮魚の展示即売(県漁連)
- (3) 水産加工品実演販売(漁協
女性部、県漁連他)
- (4) ナシフグ加工品のPR試食
販売、地魚のPR(振興協会)
- (5) 養殖生産物の安全・安心PR
(パネル展示、食べ方情報提
供・試食会...県かん水組合)
- (6) 観光部局での地魚PR
- (7) おさかなシャトルイベント

指定十周年記念事業

また、県外においても11月2日(水)「京浜地域香川フェア」として、流通懇談会や千葉県鎌ヶ谷市イオングループの店舗においてハマチをメインとした瀬戸内の水産物の展示即売、試食会、おさかなシャトルイベントなどが計画されている。

主な行事予定(10/1~10/31)

- 10月1日~2日(日) かがわ海と食の祭典
- 12日(水) 全国漁港漁場大会(神戸)
- 14日(金) 四国四県購買担当主任者会